

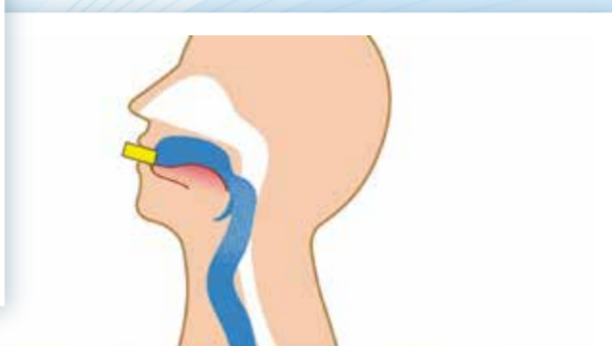
正しい吸入方法を身につけよう

近年、ぜん息・COPD(慢性閉塞性肺疾患)の吸入薬はいろいろな形のお薬が開発され、種類が多くなってきました。

吸入薬によって吸入方法が異なるため、間違った使い方をすると期待する効果が出ない原因にもなります。

このDVD・ポスターは、医師・薬剤師の説明だけでは覚えきれなかったり、忘れてしまったときに、自宅でも確認・練習できるように作成しました。

ぜひ、ご活用ください。



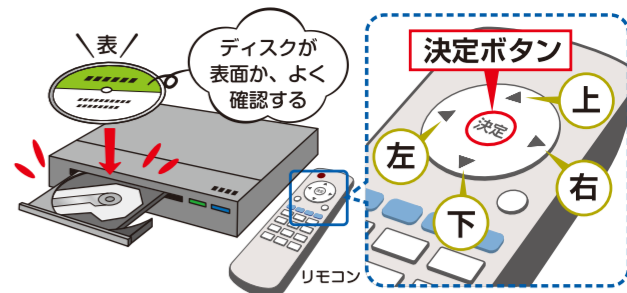
総監修 東田 有智 (近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科 教授)
 企画・編集 堀口 高彦 (藤田保健衛生大学医学部呼吸器内科学II講座 教授)
 近藤 麗え子 (藤田保健衛生大学医学部呼吸器内科学II講座 客員准教授)
 発行 独立行政法人環境再生保全機構
 制作 株式会社サンライフ企画

独立行政法人 環境再生保全機構

DVDのご視聴に関して

DVDディスクの再生方法

付属のディスクは「DVDディスク」です。テレビに接続されているDVDプレイヤー類、もしくはDVDの再生が可能なパソコン等でご視聴になれます。ディスクの絵柄が描かれている面を表にして、再生機器に入れてください。



操作方法

多くのDVDプレイヤーでは、リモコンにある上下左右のボタンと決定ボタンを使って、ご覧になりたい吸入器を選択します。お持ちの再生機器をご確認ください。

吸入器の選択



最初のメニュー画面では、吸入器の種別ごとに項目が分かれています。お使いの吸入器を選択し、決定ボタンを押してください。

次の画面に移動するので、さらに選んで決定ボタンを押すと動画が開始されます。最初の画面に戻りたい場合は、下部の「メニュー画面に戻る」を選択・決定してください。

ホームページでの視聴

DVDに収録されている動画は、環境再生保全機構のホームページからも視聴できます。また、お持ちのスマートフォンやタブレットでもご覧になることができます。下部「吸入方法一覧表」のQRコードをご使用ください。

トップページ → ぜん息などの情報館 → ぜん息基礎知識 → 成人ぜん息 → 正しい吸入方法を身につけよう → 吸入薬の使い方

大気環境・ぜん息などの情報館 検索 <https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/basic/adult/10.html>

処方された吸入薬

名前

番号

1日 回 (朝 吸入、就寝前 吸入)

2019年11月第1版第4刷発行
2021年7月第1版第5刷発行

吸入方法一覧表

吸入器の種類別に、正しい吸入方法をまとめています。DVDとあわせてご覧ください(使用前準備は含まれておりません)。

吸入後は口に残った薬剤を洗い流すため、口の中3回・のどの奥まで3回ずつ、うがいをするようにしましょう!

※抗インフルエンザウイルス薬の場合、うがいは不要です。吸入ステロイド薬を吸入した場合は必ずうがいをするようにしてください。

<p>1-A</p> <p>フルティフォーム、アドエア、フルタイド、オルベスコ、キュパール など</p> <p>エアゾール製剤</p> <p>1 吸入器をよく振る キャップをはずしてから、容器を数回振りまわす。</p> <p>2 十分に息を吐く 吸入器に息がかからないよう、十分に息を吐きます。</p> <p>3 ポンペを押す 吸入器を軽く噛んで、ポンペを1回押します。</p> <p>4 普通の呼吸で、深く吸入する ポンペを押すと同時に顔を上げて、普通の呼吸で深く吸い込みます。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>	<p>6</p> <p>オンプレス、シープリ、ウルティプロ</p> <p>ブリーズヘラー</p> <p>1 カプセルをセットする カプセルをひとつ取り出して本体の穴に入れ、吸入口をカチッと音がするまで閉じます。</p> <p>2 1回だけボタンを押す 本体の両側のボタンを、1回だけカチッと音がするまで同時に押します。</p> <p>3 ボタンを離す ボタンから指を離して、元に戻します。</p> <p>4 息を吐き、深く吸入する 十分に息を吐いたら、顔を上げて吸入口をしっかりとわけて勢いよく深く吸い込みます。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>
<p>1-B</p> <p>フルティフォーム、アドエア、フルタイド、オルベスコ、キュパール など</p> <p>エアゾール製剤 + スペース</p> <p>1 吸入器をよく振る 吸入器のキャップをはずし、容器を数回振りまわす。</p> <p>2 スペースをつける スペースに吸入器をはめ、スペースのキャップをはずします。</p> <p>3 十分に息を吐く 吸入器に息がかからないよう、十分に息を吐きます。</p> <p>4 普通の呼吸で、深く吸入する ポンペを1回押すと同時に、普通の呼吸で深く吸い込みます。くわえたまま、複数回深呼吸をしてもよいです。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>	<p>7</p> <p>スピリーバ</p> <p>レスピマット</p> <p>1 右に180度回す 本体下部を矢印方向に、カチッと音がするまで180度回転させます。</p> <p>2 キャップを開ける キャップを開けます。</p> <p>3 十分に息を吐く 十分に息を吐きます。</p> <p>4 普通の呼吸で、深く吸入する 吸入口をしっかりとわけて顔を上げ、噴射ボタンを押すと同時に普通の呼吸で深く吸い込みます。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>
<p>1-C</p> <p>フルティフォーム、アドエア、フルタイド、オルベスコ、キュパール など</p> <p>エアゾール製剤 + スペース + 補助器具</p> <p>1 補助器具をつける 吸入器に補助器具を装着し、数回振りまわす。</p> <p>2 吸入器を振り、スペースをつける 吸入器をよく振ってからスペースにはめ、スペースのキャップをはずします。</p> <p>3 十分に息を吐く 吸入器に息がかからないよう、十分に息を吐きます。</p> <p>4 普通の呼吸で、深く吸入する ポンペを1回押すと同時に、普通の呼吸で深く吸い込みます。くわえたまま、複数回深呼吸をしてもよいです。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>	<p>8</p> <p>スピリーバ</p> <p>ハンディヘラー</p> <p>1 カプセルを入れ、吸入口を閉める カプセルをひとつ取り出して本体の穴に入れ、吸入口をカチッと音がするまで閉じます。</p> <p>2 1回だけボタンを押して離す 緑色のボタンを1回だけ確実に止まるまで押して、離します。</p> <p>3 十分に息を吐く 吸入器に息がかからないよう、十分に息を吐きます。</p> <p>4 勢いよく、深く吸入する 吸入口をしっかりとわけて顔を上げ、カプセルが揺れるくらいに大きく深く吸い込みます。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>
<p>2-A, B</p> <p>②-A シムピコート、オーキス ②-B パルミコート</p> <p>タービュヘラー</p> <p>1 垂直に持ち、右へクルッと回す 吸入器を垂直に立てて持ち、回転グリップを反時計回りに止まるまで回します。</p> <p>2 左へカチッと戻す 今度は、時計回りにカチッと音がするまで戻します。</p> <p>3 十分に息を吐く 吸入器に息がかからないよう、十分に息を吐きます。</p> <p>4 勢いよく、深く吸入する 吸入口をしっかりとわけて顔を上げて勢いよく深く吸い込みます。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>	<p>9, 12</p> <p>フルタイド、セレベント</p> <p>折インフルエンザウイルス薬 リレンザ</p> <p>ディスクヘラー</p> <p>1 トレーをはずす 白いトレーの側面のギザギザしたところをつまみ、内側に押しながら取りはずします。</p> <p>2 ディスクを入れる 凹凸に合わせて薬剤のディスクを乗せ、カチッと音がするまでトレーを押し込みます。</p> <p>3 フタを開け、薬剤に穴を開ける フタを垂直に立てることで薬剤に穴を開け、フタを閉じます。</p> <p>4 息を吐き、深く吸入する 十分に息を吐いたら、顔を上げて吸入口をしっかりとわけて勢いよく深く吸い込みます。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>
<p>3</p> <p>アズマネックス</p> <p>ツイストヘラー</p> <p>1 垂直に持ち、キャップを開ける 吸入器を垂直に立てて持ち、回転グリップを反時計回りにひねって開けます。</p> <p>2 十分に息を吐く 吸入器に息がかからないよう、十分に息を吐きます。</p> <p>3 勢いよく、深く吸入する 吸入口をしっかりとわけて顔を上げて勢いよく深く吸い込みます。</p> <p>4 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p> <p>5 しっかりと閉める キャップのくぼみと重量計の位置を合うように、カチッと音がするまでフタを確実に閉めます。</p>	<p>10</p> <p>ぜん息発作時の吸入薬 メブチンエア、ペロテック、サルタノール、アイロミール</p> <p>エアゾール製剤</p> <p>1 吸入器を数回振る キャップをはずしてから、容器を数回振りまわす。</p> <p>2 息を吐く 吸入器に息がかからないよう、息を吐きます。</p> <p>3 ポンペを押す 吸入器を軽く噛んで、ポンペを1回押します。</p> <p>4 深く吸入する ポンペを押すと同時に顔を上げて、なるべく深く吸い込みます。</p> <p>5 息を止める 口を閉じ、苦しくない程度に息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>
<p>4</p> <p>アドエア、フルタイド、セレベント</p> <p>ディスク</p> <p>1 カバーを開ける カチッと音がするまでスライドさせ、カバーを開けます。</p> <p>2 レバーを押す レバーをグリップの方向にカチッと音がするまで押しつけます。</p> <p>3 十分に息を吐く 吸入器に息がかからないよう、十分に息を吐きます。</p> <p>4 勢いよく、深く吸入する 吸入口をしっかりとわけて顔を上げて勢いよく深く吸い込みます。</p> <p>5 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>	<p>11</p> <p>ぜん息発作時の吸入薬 メブチン</p> <p>スイングヘラー</p> <p>1 水平に持ち、キャップを開ける 表(水平)シールの面を右にスライドさせ、キャップを開けます。</p> <p>2 1回だけボタンを押して離す 緑色のボタンを1回だけ確実に止まるまで押して、離します。</p> <p>3 息を吐く 吸入器に息がかからないよう、息を吐きます。</p> <p>4 勢いよく、深く吸入する 吸入口をしっかりとわけて顔を上げて勢いよく深く吸い込みます。</p> <p>5 息を止める 口を閉じ、苦しくない程度に息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p>
<p>5</p> <p>レルベア、アノール</p> <p>エアリタ</p> <p>1 カバーを開く カバーをカチッと音がするまでスライドさせて開けます。</p> <p>2 十分に息を吐く 吸入器に息がかからないよう、十分に息を吐きます。</p> <p>3 勢いよく、深く吸入する 吸入口をしっかりとわけて顔を上げて勢いよく深く吸い込みます。</p> <p>4 3~5秒息を止める 口を閉じ、なるべく3秒~5秒間息を止めて、鼻からゆっくり息を吐きます。</p> <p>5 カバーを閉める カバーをしっかりと閉めます。</p>	<p>13</p> <p>折インフルエンザウイルス薬 イナビル</p> <p>1 軽く下に叩く 薬を立てて持ち、軽くボトルと叩いて薬を下に集めます。</p> <p>2 右にスライドさせる 1回目は、容器の「薬剤トレー」を右に止まるまでスライドさせます。</p> <p>3 息を吐き、深く吸入する 十分に息を吐いたら、顔を上げて吸入口をしっかりとわけて勢いよく深く吸い込みます。その後はなるべく息を止めます。</p> <p>4 左にスライドさせる 2回目は、容器の「薬剤トレー」を左に止まるまでスライドさせます。</p> <p>5 息を吐き、深く吸入する 1回目と同様に吸入します。終わったら、吸い残しをなくすため①~④の手順を繰り返します。</p>

※新しい薬剤を使用する場合などは前準備が必要になります。

※抗インフルエンザウイルス薬(リレンザ、イナビル)はぜん息・COPDのお薬ではありませんが、ぜん息・COPD患者様が使用される際の参考として掲載しています。

セルフケアのためのぜん息 COPD の治療薬

この表は『喘息予防・管理ガイドライン2012』『COPD（慢性閉塞性肺疾患）診断と治療のためのガイドライン第4版』をもとに作成しました。実際の治療では、必ずしも表と当てはまらない場合がありますので、薬の使用に関しては必ず医師に相談してください。



ぜん息のお薬

おもな長期管理薬（コントローラー）・・・気管支の状態を良くし、発作がおこらないように長期間予防的に使う薬

薬の役割	気管支の炎症をおさえる薬		気管支を広げる薬		新たなぜん息発作がおきるのをおさえる薬							
			気管支拡張薬	キサンチン系薬	ロイコトリエン受容体拮抗薬		化学伝達物質遊離抑制薬		Th2サイトカイン阻害薬	ヒスタミンH1拮抗薬		トロンボキサンA ₂ 合成阻害薬・受容体拮抗薬
薬の種類	ステロイド薬		吸入ステロイド薬 / 長時間作用性β ₂ 刺激薬配合剤	長時間作用性β ₂ 刺激薬	テオフィリン徐放製剤	ロイコトリエン受容体拮抗薬	化学伝達物質遊離抑制薬		Th2サイトカイン阻害薬	ヒスタミンH1拮抗薬		トロンボキサンA ₂ 合成阻害薬・受容体拮抗薬
効能	気管支に直接到達して、炎症をおさえる。	全身投与により炎症をおさえる（重症持続時の短期間の投与が原則）。	1剤で、気管支の炎症をおさえる効果と気管支を広げる効果がある。	交感神経を刺激して、気管支を広げる。12時間以上効果が持続する（吸入ステロイド薬との併用が基本）。	ゆっくり溶ける作用時間の長い薬で、気管支を広げる。	気管支を収縮させる作用に深く関係しているロイコトリエンという化学伝達物質の働きをブロックする。	気管支の収縮を引き起こす化学伝達物質が肥満細胞から放出されるのをおさえる。		アレルギー炎症を起こす物質（サイトカイン）の産生をおさえる。	肥満細胞からの化学伝達物質の放出をおさえる作用にあわせて、ヒスタミンの働きをおさえる効果がある。		肥満細胞からの化学伝達物質（トロンボキサン）の産生・放出をおさえる。
用法	吸入		吸入	吸入・貼付	経口		経口	吸入	経口	経口	経口	経口
おもな副作用	のどの刺激による咳、声がれ、口腔カンジダ症など（一般的な使用量では全身性の副作用はほとんどなく、吸入後のうがいや水分摂取で多くの場合は予防可能）。		声がれ、口腔カンジダ症、咽喉頭部への刺激など。	心悸亢進、頭痛、吐き気など。	吐き気、嘔吐などの胃腸症状、興奮、食欲不振、下痢、不眠、けいれんなど。	発疹、下痢・腹痛、肝機能障害など。	咽喉頭部への刺激感、嘔吐、咳など。		肝機能障害や発疹など。	胃の不快感、吐き気、下痢などの消化器症状、眠気、頭痛、発疹、肝機能障害など。	眠気やけいれん、興奮など。	肝機能障害や発疹など。
商品名	■キュバル キュバル50エアゾール キュバル100エアゾール ■フルタイド フルタイド50ディスク フルタイド100ディスク フルタイド200ディスク ■フルミコート フルミコート吸入液0.25mg フルミコート吸入液0.5mg フルミコート100μgタービュヘイラー112吸入 フルミコート200μgタービュヘイラー56吸入・112吸入 ■オルベスコ オルベスコ50μgインヘラー112吸入 オルベスコ100μgインヘラー56吸入・112吸入 オルベスコ200μgインヘラー56吸入	■コートリル コートリル錠10mg ■プレドニゾン 各社錠 ■メドロール メドロール錠2mg メドロール錠4mg ■レダコート レダコート錠4mg ■デカドロン デカドロン錠0.5mg ■リンデロン デカドロンエリキシル0.01% リンデロン錠0.1% リンデロン錠0.5mg ■アズマネックス アズマネックスツイストヘラー100μg60吸入 アズマネックスツイストヘラー200μg60吸入	■アドエア アドエア100ディスク28吸入用・60吸入用 アドエア250ディスク28吸入用・60吸入用 アドエア500ディスク28吸入用・60吸入用 アドエア50エアゾール120吸入用 アドエア125エアゾール120吸入用 アドエア250エアゾール120吸入用 ■シムビコート シムビコートタービュヘイラー30吸入・60吸入 ■フルティフォーム フルティフォーム50エアゾール56吸入用・120吸入用 フルティフォーム125エアゾール56吸入用・120吸入用 ■レルベア レルベア100エアゾール14吸入用・30吸入用 レルベア200エアゾール14吸入用・30吸入用	■セレベント セレベント50ディスク セレベント25ロタディスク ■ホクナリン ホクナリンテープ0.5mg ホクナリンテープ1mg ホクナリンテープ2mg ■テオドール テオドール錠20% テオドール錠50mg テオドール錠100mg テオドール錠200mg テオドールシロップ2% テオドールドライシロップ20% ■テオロン テオロン錠50mg テオロン錠100mg テオロン錠200mg ■スロービッド スロービッド錠20% ■ユニコン ユニコン錠100 ユニコン錠200 ユニコン錠400 ■ユニフィル ユニフィルA錠100mg ユニフィルA錠200mg ユニフィルA錠400mg ■モノフィリン モノフィリン原末 モノフィリン錠100mg	■オノン オノンカプセル112.5mg ■インテール インテールカプセル外用20mg インテール吸入液1% インテールエアゾール1mg ■キプレス キプレス錠4mg キプレス錠5mg キプレス錠10mg キプレスチュアブル錠5mg ■シングレア シングレア錠4mg シングレア錠5mg シングレア錠10mg シングレアチュアブル錠5mg	■リザベン リザベン錠10% リザベンカプセル100mg リザベンドライシロップ5% ■ソルファ ソルファ錠25mg錠 ソルファ錠50mg錠 ■ケタス ケタスカプセル10mg ■アレギサル アレギサル錠5mg アレギサル錠10mg アレギサルドライシロップ0.5%	■アイビーディ アイビーディカプセル50 アイビーディカプセル100 アイビーディドライシロップ5% ■ベミラストン ベミラストン錠5mg ベミラストン錠10mg ベミラストンドライシロップ0.5%	■ザジテン ザジテンカプセル1mg ザジテンシロップ0.02% ザジテンドライシロップ0.1% ■アゼプチン アゼプチン錠0.2% アゼプチン錠0.5mg アゼプチン錠1mg ■セルテクト セルテクト錠30	■ベガ ベガ錠100mg ベガ錠200mg ■ドメナン ドメナン錠100mg ドメナン錠200mg ■プロニカ プロニカ錠10% プロニカ錠40 プロニカ錠80 ■アレジオン アレジオン錠10 アレジオン錠20 アレジオンドライシロップ1%			
使用目安	ステップ1（軽症間欠型治療）		ステップ2（軽症持続型治療）		ステップ3（中等症持続型治療）		ステップ4（重症持続型治療）					
症状	週1回未満、軽度で短い症状が起きる。夜間症状は月2回未満。		週1回以上の症状があり、月1回以上日常生活や睡眠が妨げられる。夜間症状は月2回以上。		毎日症状があり、週1回以上日常生活や睡眠が妨げられる。夜間症状は週1回以上。		毎日症状があり、日常生活が制限される。夜間症状がしばしばある。					
基本治療	●吸入ステロイド薬（低用量） 使用できない場合は以下のいずれかを用いる ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ●テオフィリン徐放製剤 ※症状がまれに出る程度なら必要なし		●吸入ステロイド薬（低～中用量） 不十分な場合は以下のいずれか1剤を用いる ●長時間作用性β ₂ 刺激薬 ●吸入ステロイド薬 / 長時間作用性β ₂ 刺激薬配合剤 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ●テオフィリン徐放製剤		●吸入ステロイド薬（中～高用量） 以下のいずれか1つ、もしくは複数剤を併用 ●長時間作用性β ₂ 刺激薬 ●吸入ステロイド薬 / 長時間作用性β ₂ 刺激薬配合剤 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ●テオフィリン徐放製剤		●吸入ステロイド薬（高用量） 上記に以下の複数剤を併用 ●長時間作用性β ₂ 刺激薬 ●吸入ステロイド薬 / 長時間作用性β ₂ 刺激薬配合剤 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ●テオフィリン徐放製剤 それでも管理不良の場合は以下を使用 ●経口ステロイド薬					
追加治療	ロイコトリエン受容体拮抗薬以外の抗アレルギー薬											
発作治療	吸入短時間作用性β ₂ 刺激薬											

おもな発作治療薬（リリーパー）・・・発作が起きたときに使う薬

薬の役割	気管支を広げる薬	
薬の種類	短時間作用性β ₂ 刺激薬	
効能	交感神経を刺激して、気管支を広げる。	
用法	吸入	経口
おもな副作用	心悸亢進、倦怠感、頭痛、吐き気、発疹など。	
商品名	■ベネリン ベネリン吸入液0.5% ■メブチン メブチン吸入液0.3mL メブチン吸入液0.5mL ■サルタノール サルタノールインヘラー100μg ■アイロミール アイロミールエアゾール100μg メブチンクリックヘラー10μg メブチンスイングヘラー10μg吸入100回	■ベネリン ベネリン錠2mg ■メブチン メブチン錠0.01% メブチン錠25μg メブチン錠50μg ■プリカニール プリカニール錠2mg プリカニールシロップ0.5mg/mL ■ホクナリン ホクナリン錠1mg ホクナリンシロップ0.005%
ご家庭での対応	① 発作治療薬（ ）を1～2吸入する。 ② 効果が不十分な場合は、20分おきに1時間まで吸入を繰り返す。 ③ 以後は1時間に1回を目安とし、3時間以内までに症状が消失、または薬剤の効果3～4時間持続する場合は自宅治療とする。 ④ 主治医より、内服薬（ ）の指示があれば内服する。 ⑤ 上記症状を繰り返す場合は、主治医の診察を受ける。 ⑥ 救急受診が必要な場合 ● 上記で3時間以内に改善しない ● 発作治療薬を1～2時間おきに必要とする ● 症状が悪化していく	

COPDのお薬

おもな治療薬・・・症状の重さや合併症などに応じて使い分ける

薬の役割	気管支の収縮を予防する薬		気管支を広げる薬	痰を出しやすくする薬	
薬の種類	短時間作用性抗コリン薬	長時間作用性抗コリン薬	長時間作用性β ₂ 刺激薬	喀痰調整薬	
効能	アセチルコリンの放出をブロックし、気管支の収縮をおさえる。		気管支の収縮をおさえる。交感神経を刺激して気管支を広げる。	痰の成分を分解する、気道の分泌液を増加させるなどして痰を出しやすくする（気管支拡張薬との併用が基本）。	
用法	吸入	吸入	吸入	吸入	
おもな副作用	口内乾燥、頭痛、吐き気、前立腺肥大による排尿困難など（一般的な使用量では全身性の副作用はほとんどない）。		口内乾燥、頭痛など。	心悸亢進、頭痛、吐き気など。	
商品名	■アトロベント アトロベントエロソール20μg ■テルシガン テルシガンエロソール100μg ■スピリーバ スピリーバ吸入用カプセル18μg スピリーバ2.5μgレスピマット60吸入 ■シープリ シープリ吸入用カプセル50μg ■ウルティプロ ウルティプロ吸入用カプセル ■アノーロ アノーロエロソール吸入用 ■オーキシス オーキシス9μgタービュヘイラー28吸入・60吸入 ■オンプレス オンプレス吸入用カプセル150μg	■ムコフィン ムコフィン吸入液20% ■ピルボン ピルボン錠2% ピルボン錠4mg ピルボンシロップ ■ムコダイン ムコダイン錠250mg ムコダイン錠500mg ムコダイン錠50% ムコダイン錠50% ムコダイン錠50% ムコダイン錠50% ムコダイン錠50% ムコダイン錠50%	■ムコフィン ムコフィン吸入液20% ■ピルボン ピルボン錠2% ピルボン錠4mg ピルボンシロップ ■ムコダイン ムコダイン錠250mg ムコダイン錠500mg ムコダイン錠50% ムコダイン錠50% ムコダイン錠50% ムコダイン錠50% ムコダイン錠50% ムコダイン錠50%	■ムコソルバンDS3% ムコソルバン内用液0.75% ■スベリア スベリア錠200 スベリア内用液8% ■ムコソルバンL ムコソルバンLカプセル45mg ■ムコソール ムコソールLカプセル45mg	■ムコソルバンDS3% ムコソルバン内用液0.75% ■スベリア スベリア錠200 スベリア内用液8% ■ムコソルバンL ムコソルバンLカプセル45mg ■ムコソール ムコソールLカプセル45mg
使用目安（COPD診療のエッセンス 2014年版）をもとに作成	軽症（坂道で息切れする） 短時間作用性β ₂ 刺激薬または短時間作用性抗コリン薬を必要時に吸入する ● 症状が改善しなければ 長時間作用性抗コリン薬 長時間作用性β ₂ 刺激薬 を使用		中等症（平地で息切れする） 長時間作用性抗コリン薬または長時間作用性β ₂ 刺激薬を使用 ● 症状が改善しなければ併用する	重症（日常動作で息切れする） 長時間作用性抗コリン薬または長時間作用性β ₂ 刺激薬を使用 ● 症状が改善しなければ併用、もしくは初めから併用する ● さらに改善しなければテオフィリン薬の追加検討	
いずれの場合でも・・・	● ぜん息の合併が疑われる場合はステロイド薬を併用、急な症状の悪化が年2回以上ある場合も併用を検討する ● 動く前など必要ときには短時間作用性β ₂ 刺激薬・短時間作用性抗コリン薬を吸入する ● 痰を出すのが難しいときは喀痰調整薬を使用する				

※アドエア、シムビコートはCOPDにも適応しています（ぜん息の欄参照）。また、吸入ステロイド薬は単剤ではCOPDには適応はありませんが、医師の判断で使用されることがあります。※「アトロベントエロソール20μg」「テルシガンエロソール100μg」「スピリーバ2.5μgレスピマット60吸入」はぜん息にも適応しています（COPDの欄参照）。※薬剤の写真は2015年1月時点のもので、各社のウェブサイトより許可を得て転載しています。製剤は予告なく販売中止および外観の変更がされる可能性があります。